

平成 25 年度 校内研修(究)計画書

十和田市立北園小学校

1 学校の教育課題

(1) 教育目標

三本木開拓の精神に学び、郷土の発展に寄与する人間の育成

<かしこく> 創造力があり、未知を切り開く子ども

<やさしく> 情操豊かで、意志の強い子ども

<たくましく> 体が健康で、たくましい子ども

(2) 努力目標

<かしこく> 進んで学習する子ども

<やさしく> 思いやりのある子ども

<たくましく> 体をきたえる子ども

(3) 目標達成上の課題

<かしこく>

- ① 基礎学力(読み・書き・計算)と、当該学年の基礎的・基本的内容の着実な定着
- ② 校内研修を中核とした思考力・判断力・表現力等の育成
- ③ 学習環境づくりと学習習慣の確立

<やさしく>

- ① 道徳の時間や全教育活動等を通しての、思いやりの心の育成
- ② 基本的生活習慣の定着
- ③ 児童の成長・変容を図る行事等の工夫

<たくましく>

- ① 健康を保持増進させる態度や習慣の育成
- ② 基礎的な体力・運動能力の向上
- ③ 危機回避能力の育成と、安全・安心な行動化の育成

2 本年度の研究計画

(1) 研究主題

しっかりと自分の考えをもち、表現できる子の育成

～算数科における自力解決を促す学習指導・学習支援の工夫～

※「表現できる」とは・・・ワークシートやノートに自分の考えを「書く」ことができること。そして、次のステップとして、それを「話す(説明する)」ことができること。

(2) 主題設定の理由

① 学習指導要領との関連

現行の学習指導要領改訂のポイントの一つは、「表現力」の育成である。国際化・情報化社会において、共生し、主体的に生きるために、互いの立場や考えを尊重しながら「言葉で伝え合う力」を高めることは、きわめて重要である。しかし、この「伝え合い」を成立させるためには、まず、個々の考えが確立していることが前提である。この個々の考えが確かであれば深いほど、「伝え合う」ことによって、内容が深まり、新たな価値を生むことになる。すなわち、学習においては、「考える力」と「伝え合う力」の向上によって、それぞれの個を高め合うことになり、お互いが学ぶ喜びを実感し、成就感を味わえる魅力ある学習が成立すると考えられる。そこで、この「考える力」と「伝え合う力」を向上させることが、「しっかりと自分の考えをもち、表現できる子の育成」につながると考え、研究に取り組むこととした。

② 児童の実態、学校や地域の課題との関連

本校の児童は、明るく元気で素直な子どもが多い。また、平成 20 年度から始まった「学びたいム」や「家庭学習ガイド」の取組の成果として、学力検査の分析においては、どの学年、どの教科においてもほぼ全ての観点で全国平均を上回っている。このことから、既習事項の定着という意味での基礎的・基本的な力は着実に身につけてきていると言える。しかし、日常の授業においては、自分の考えを書いたり話したりすることを苦手としている子が少なからずいるのも事実である。よって、本校の児童の傾向としては、学んだことをそのまま覚えたり、繰り返し練習で身に付けたりすることは得意であるが、新しい考えを生み出したり、自己主張をしたりすることに関しては苦手としている子が多いということが言える。そこで、この受動的な学習姿勢から能動的な学習姿勢へと転換を図り、より積極的な学習ができる子を育てるためには、しっかりと自分の考えをもたせ、それを表現させることにポイントを絞って指導していくことが大切だと考え、この方向で研究に取り組むこととした。

③ これまでの研究の成果と課題との関連

本校では、ここ3年間ほど、「対話する力」の育成ということに焦点をしばって研究に取り組んできた。特に昨年度は、各学年における「『話し合うこと』に関する目指す児童像」を設定し、それを教室に掲示し、教師も児童も常にそれを意識しながら日常の授業実践に取り組んできた。その結果、6月と12月に行った児童アンケートでは、「話し合うこと」に関して変容が見られ、児童の意識の向上が確認できた。実際の日々の授業においても、進んで意見交流できる子が増えてきており、時には、厳しく意見をやり取りする場面も見られるようになってきた。しかし、その一方で、話し合い活動に参加できずに授業の傍観者となってしまっている子がいることも確認された。その主な原因としては、しっかりと自分の考えをもつことができているために、話し合いに入っていけないのだということが分かってきた。そこで、全ての子が話し合い活動に参加できるようにするために、その前提となる「しっかりと自分の考えをもたせる」ためにはどうしたらよいのか、そしてそれを表現させるにはどうしたらよいのかを明らかにするために、本研究主題を設定し、研究に取り組むこととした。

(3) 研究目標

しっかりと自分の考えをもち、表現できる子を育てるためには、導入から自力解決に至るまでの指導過程において、自力解決を促すような学習指導や学習支援の工夫をすることが有効であることを、授業実践を通して明らかにする。

(4) 研究仮説

導入から自力解決に至るまでの指導過程において、自力解決を促すような学習指導や学習支援の工夫をすれば、しっかりと自分の考えをもち、表現できる子が育つであろう。

※「自力解決を促すような学習指導や学習支援の工夫」とは……

(例)

- ・子どもの興味・関心をひきつけるような教材提示や課題設定。
- ・子どもが「できそうだ。」と思えるような「見通し」の持たせ方。
- ・自力解決でつまづいている子を助ける支援の仕方。 など

【授業のモデル図】

学 習 活 動	自力解決を促すような学習指導や学習支援の工夫(例)
1 本時の課題をつかむ (1) 問題の提示 (2) めあての確認	○子どもの興味・関心をひきつけるような教材提示や課題設定 ・問題を視覚化(図, 写真, 動画)して提示する。 ・子どもの身近なものを取り上げる。
2 解決の見通しを持つ	○子どもが「できそうだ。」と思えるような「見通し」の持たせ方。 ・解決の方法を発表させる。 ・結果を予想させる。 ・何が分かるとできそうかを考えさせる。 ・途中まで一緒に解いてみる。
3 自力解決をする	○自力解決でつまづいている子を助ける支援の仕方 ・ヒントカードを渡す。 ・つまづいている子を前に集めてヒントを出す。 ・具体物を準備しておく。 ・わかりやすいワークシートを渡す。 ・実物, 絵, 半具体物(おはじき, ブロック等), 図, グラフ, 文字, 記号, などを用いて解かせる。 ・どんなことがわかるか(言えるか)を考えさせる。 ・同じように考えて, 解かせる。 ・工夫して解かせる。
4 話し合う (1) ペア交流, グループ交流, 全体交流	
5 まとめる (1) 本時のまとめをする (2) 練習問題を解く	

(5) 仮説の検証に向けて

- ① 検証授業において、自力解決できた子の割合を算出し、仮説に関する手だてが適切だったかどうか検討する。
- ② 抽出児童の普段の様子と検証授業での様子の違いを観察し、仮説に関する手だてが適切だったかどうか検討する。
- ③ 6月と12月に「しっかりと自分の考えを持つこと」に関する「児童の実態調査」を実施し、その変容を調べることで、しっかりと自分の考えを持つことができる子が育ってきているかどうかを検討する。
- ④ 類似問題による正答率及び解決過程の変容等から検討する。

(6) 研究日程

月 日	内 容	方 法	教科・ 領域	要請指導主事
4月12日	前年度の研究の概要説明と今年度の研究の予定	全体協議		
4月26日	研究主題・目標・仮説・検証方法・研究日程について	全体協議		
5月22日	指導案の様式、めざす児童像の設定、実態調査の項目の検討	全体協議		
6月21日	検証授業の指導案づくりの計画、教材研究	学年部会		
夏季休業中	検証授業の指導案の作成	学年部会		
9月4日	4年検証授業 授業者 佐々木 章 弘	全体協議	算数	十和田市教育委員会 指導課長補佐 藤田 誠志 先生
10月9日	5年検証授業 授業者 小 林 忠 輝	全体協議	算数	
10月16日	2年検証授業 授業者 川 崎 衆 子	全体協議	算数	三沢市立第三中学校 校 長 工 藤 正 彦 先生
11月6日	6年検証授業 授業者 三 浦 亜希子	全体協議	算数	十和田市教育委員会 指導課長補佐 藤田 誠志 先生
11月20日	3年検証授業 授業者 島 田 博 士	全体協議	算数	上北教育事務所 指導主事 繁在家 康文 先生
11月27日	1年検証授業 授業者 山 形 暁 子	全体協議	算数	上北教育事務所 指導主事 繁在家 康文 先生
12月11日	研究の評価アンケートについて	全体協議		

1月17日	研究紀要編集計画	全体協議		
1月29日	今年度の研究の反省	全体協議		
2月7日	次年度の研究の方向づけ	全体協議		

3 研修計画

(1) 研修の重点

- ① 教育活動をより良いものにできるような専門的な知識や技能を身につける。
- ② 先進的な研究に取り組んでいる学校の情報を、全教職員で共有する。

(2) 研修日程

月日	内 容	方 法	教科・領域	要請指導主事等
5月15日	視聴覚機器の使用方法	講義・実技	視聴覚	校内講師 教諭 小林 忠輝
8月20日	通常学級における支援の必要な子への対応	講 義	特別支援	三沢市立岡三沢小学校 教諭 柴田 卓也 先生
8月28日	描画・版画の指導方法	講 義	図 工	校内講師 教諭 川村 英徳
1月10日	県外研修等報告会	報 告	一 般	報告者:4月～12月に県外研修に派遣された人
3月7日	県外研修等報告会	報 告	一 般	報告者:1月～2月に県外研修に派遣された人

本主題での研究 1年目		研究教科等	算 数
研修主任	川 村 英 徳	研究指定の有無	有・ 無 平成27年度十和田市学習指導研究会発表校